



SDGsを学ぶ

SDGsについて、シミュレーションゲームを通して必要なことや国際的問題を学んだ。

貧困問題の認識新たに

鶴岡中央高

SDGsゲーム形式で学ぶ

若者向けSDGs学習会が10日、鶴岡中央高（遠田達浩校長）で行われた。1年生総合学科120人が受講したもので「産業と社会と人間」の授業の一環として行われた。

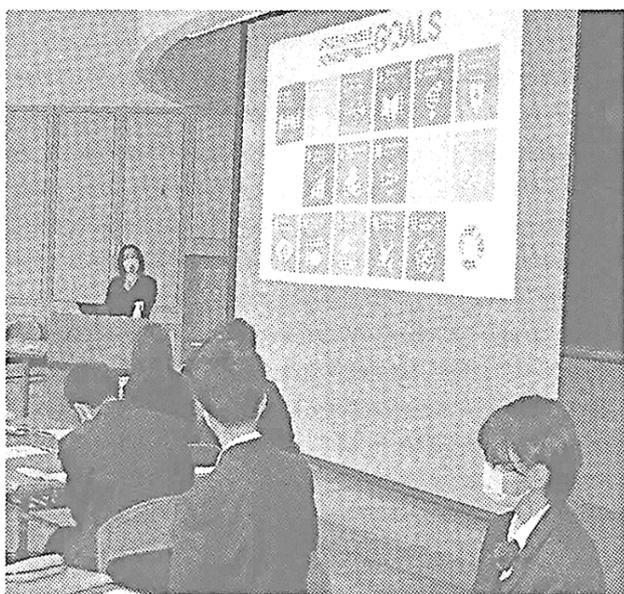
SDGsはSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で2015年、国連で合意された国際社会共通の目標。

県内でも導入の動きが広がりつつあり、他者との協働が必要であることをシミュレーションゲームによって体感した。

環境・社会・経済の3つがバランス良く回っていくことが必要なことなどを学んだ。佐藤なつみさん(16)は「環境問題がメインとは

かり思っていたが、これに経済問題が大きく絡んでいることが分かった。国際的な貧困問題に関して認識を新たにした。高校生としてもっと学んでいきたい」と振り返っていた。

県委託事業としてリコージャパンが今夏から運営するもので酒田南高もすでに経験。12月には山大農学部1年生を対象に行われる。



「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」などSDGsの17の目標をゲーム形式で学んだ

荘内日報

掲載：令和2年11月12日